

保育園自己評価表

30年度

園名 まあむベビーズ相模大野

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
<p>○保健的で安全な環境の中で伸び伸びと遊び、様々な経験をしながら感受性を養い、周囲への興味関心が持てるようにする</p> <p>○家庭的な雰囲気大切に個々の欲求を満たし、情緒の安定を図りながら、個性を育み、信頼関係、愛着関係を築く</p> <p>○個々の発達、発育状態に応じて、離乳の完了や歩行の安定、言語発達への意欲を育む</p> <p>達成度 B 家庭と密に連携を取りながら、個々の性格、発達に合わせた保育を行うことが出来た。園児、保護者との信頼関係を築き安心して登園し、生活し、子育ての喜びを共有するよう努めた。</p> <p>○安心できる保育者との関係の下で、生活や遊びに興味を持ち、基本的な生活習慣の基礎を身につける</p> <p>○聞く、見る、触れるなどの様々な経験をする中で、人や環境への興味関心を高める</p> <p>○感じた事や体験など保育者に伝えようとしていたり、安心できる保育者や友だちとの生活の中で言葉を獲得していく</p> <p>達成度 B 少人数で過ごす時間も十分に取ることが出来た、異年齢混合保育の生活の中で様々な関わりや体験が出来よう配慮した。一人一人と保育者がじっくりと関わる時間を大切にしながら、集団と個それぞれを意識し保育することが出来た。</p> <p>○家庭的な雰囲気の中で、自分の思いや欲求を満たしながら安心して過ごす</p> <p>○保育者に見守られながら、身の回りのことを自分で出来た喜びを感じる</p> <p>○生活の中で身の回りの物の名称や簡単な数、形、色などが分かり、言葉を使って伝えたり、言葉でのやり取りを楽しんだりする</p> <p>○全身を使う遊び、手や指先を使った遊びを喜んでやろうとする</p> <p>達成度 A 自己肯定感を味わえるよう出来ない所を介助し、自信が持てるよう働きかけた。興味を持って活動できるよう準備し、楽しんで生活する中で身の周りの事を自分でできるように促し、身に付けられるよう保育に取り組んだ。</p>	<p>0歳児*個々の生活習慣や家庭状況を踏まえ、担当同士また家庭と連携を取り、保育を行うことが出来た。制作や環境への配慮を含め、話し合う時間を取りながら協力しクラスづくりを行うことが出来た。</p> <p>1歳児*連絡事項などの伝達をより意識的に確に伝えることで、相互理解を深める事が出来た。施設長を含め、園全体で問題点や課題点を話し合い、より良い保育を目指すことが出来た。異年齢混合での活動がもっとスムーズに行えるようさらに改善しながら進めていきたい。</p> <p>2歳児：基本的な生活習慣の獲得を目指し、職員間で個々への対応、集団としての動きを相談しながら、クラスづくりが出来よう心掛けた。担当を中心に園全体でも個別またクラス単位での関わり方を話し合い、保育することが出来た。</p> <p>全体：全体的に各クラスでしっかりと担当が中心に活動できる一年となった。それぞれがしっかりとした保育感を持ち、実行しながらより良い園づくりをすることが出来ていた。例年の反省点を生かし、今年度の園児にあった保育を模索し、考慮し、行う。その中で、施設長を含め相談し合うことが出来た。職員それぞれの考え方を共有しながら、園づくりを行うことが出来た。</p>	<p>ロビーファイブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへの参加 ・季節イベント（こいのぼり、ハロウィン）では飾りの前で記念撮影させてもらったり、散歩などで子どもたちが大きなこいのぼりを見ることが出来た。 ・サンタクロースからのプレゼント：クリスマス会にサンタクロースとして参加してもらい、子どもたちの発表を見て頂く。またプレゼントをもらうことを体験することが出来た。 <p>・常に防災センターの方が気にかけてくださり、周辺の修繕や警備をしていただく</p> <p>図書館 2歳児を中心にお話会へ参加する</p> <p>消防署 施設見学に参加し、道具や消防車、救急車の中を見せてもらうなどの体験が出来た。</p> <p>中央公園 ウクレレ教室の方々が園児の為にウクレレを弾いて聞かせてくださった。散歩で子どもたちの姿を見かけ、童謡やアニメソングなどを弾き語りしていただきました。</p>

この評価のつけ方：

各担当と施設長で話し合い、まとめる。評価に関しては施設長が判断し評価した。A出来ている Bほとんど出来ている Cやや出来ていない